

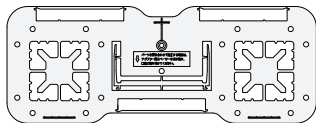
取扱説明書

リフォームダクトJDツインタイプ

混合栓用ボックスカバー用スペーサー

TJMBS-20

■ 梱包明細



混合栓用ボックスカバー用スペーサー (TJMBS) : 1個

⚠ 注意

- 壁の素材をご確認のうえ使用してください。石膏ボードなどでは、固定強度が不足することがあるため、壁下地材を木軸などに固定してください。やむなく石膏ボードに固定する場合はボードアンカーを使用してください。
- インパクトドライバの使用は避けてください。使用すると製品が割れるなど本来の性能を損なう場合があります。
- JDダクト、スペーサーは糸のこで切断してください。切断部については、配管や保温材の傷つきや損傷を防止するため、バリを処理してください。
- 切断した断面などでケガをする恐れがありますので、作業時は必ず作業手袋などをはめてください。
- 本製品は使用環境温度の範囲内で使用してください。高温になる火元周りでの使用には注意してください。
- 混合栓用ボックスカバーの施工の際には、別売の給水栓用継手ホルダーおよび給湯用継手ホルダーが必要な場合があります。

■ 施工手順

〈混合栓用ボックスカバー(TJMB)にダクトを接続する場合〉

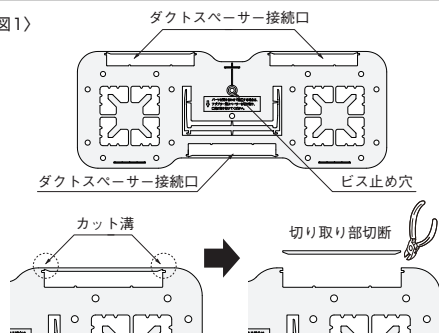
1. 混合栓用ボックスカバー用スペーサー(TJMBS)

(以下、スペーサー(TJMBS)とする)の施工準備

配管経路に合わせてダクトスペーサー接続口の切り取り部をニッパーで切断し、スペーサー(TJMBS)をM4皿ビスで固定してください。〈図1〉

- ① 切り取り部はカット溝に合わせて真っ直ぐ根本で切断してください。斜め切断や切り残しがあるとダクトスペーサーが接続できない可能性があります。ダクトスペーサーを接続する切り取り部以外は切断しないでください。

〈図1〉

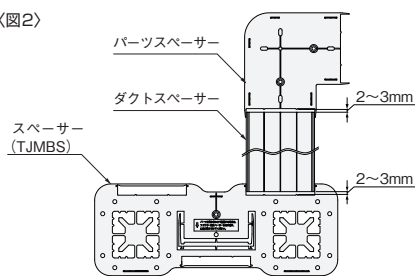


2. ダクトスペーサーの切断

スペーサー(TJMBS)とパーツスペーサーの間隔を測らし、ダクトスペーサーを切断してください。〈図2〉

- ② スペーサー(TJMBS)、パーツスペーサー、ダクトスペーサーの間隔を2~3mm空けて施工してください。密着させると軋み音が発生する恐れがあります。

〈図2〉



3. ダクトスペーサーの施工

ダクトスペーサーをスペーサー(TJMBS)とパーツスペーサーの間に取付けてください。

- ③ ダクトスペーサーの落下防止の仮止めが必要な場合は養生テープ等で止めてください。スペーサー(TJMBS)およびパーツスペーサーに、混合栓用ボックス(TJMB)ベースおよびパーツベースを乗せてビス固定してください。ダクトスペーサーにダクトベースを乗せてビス固定してください。
- ④ ダクトおよびパーツの施工はリフォームダクトJDツインタイプ仕様書に従って施工してください。

〈混合栓用ボックスカバー(TJMB)に直接パーツを接続する場合(パーツを突き合わせて施工する場合)〉

1. スペーサー(TJMBS)の施工準備

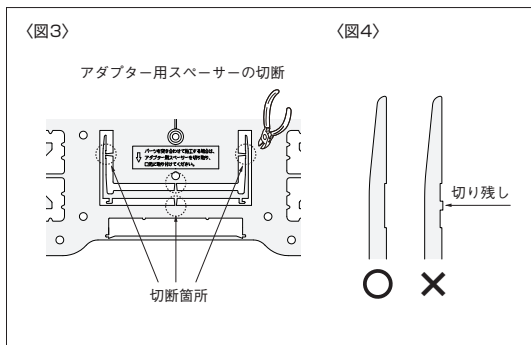
配管経路に合わせてダクトスペーサー接続口の切り取り部を切断してください。

① ダクトスペーサーを接続する切り取り部以外は切断しないでください。

アダプター用スペーサーをニッパーで切り取ってください。

〈図3〉

② 切り取り部は溝に合わせて真っ直ぐに根本で切断し、切り残しがないようにしてください。切り残しがあるとアダプター用スペーサーが開く恐れがあります。〈図4〉

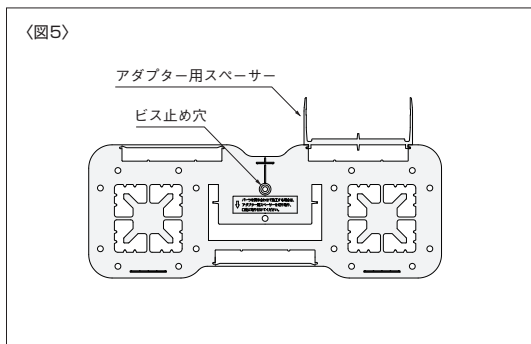


2. アダプター用スペーサーの取付け

スペーサー(TJMBS)をM4皿ビスで固定してください。

アダプター用スペーサーを引掛けて取付けてください。

〈図5〉



3. パーツスペーサーの取付け

パーツスペーサーをM4皿ビスで固定し、混合栓用ボックス(TJMB)ベースおよびパーツベースを施工してください。

〈図6〉

① 混合栓用ボックスベース以降の施工についてはリフォームダクトJ・Dツインタイプ仕様書に従って施工してください。

